

要支援

介入(支援)が  
必要な児童生徒

チーム学校  
(教職員・SSW・S  
C・SS・関係機関)

協働と役割分担

# カナダ・トロント教育委員会

## 階層介入

(Tiered Intervention)

< 学校 >

Few

生徒サポートチーム  
による個別支援の実行

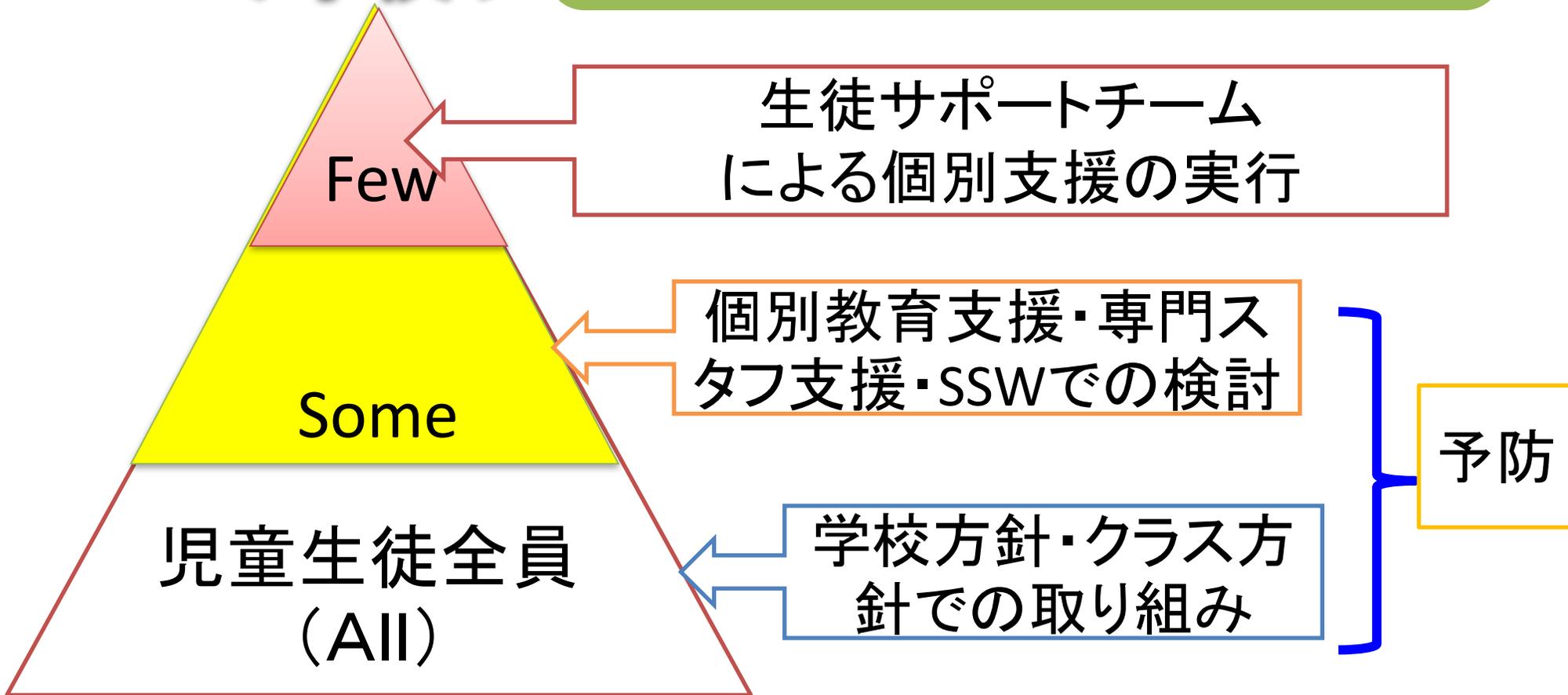
Some

個別教育支援・専門ス  
タフ支援・SSWでの検討

児童生徒全員  
(All)

学校方針・クラス方  
針での取り組み

予防



# アメリカ:学校全体アプローチ (whole School Approach)

対応(Response)から介入(Intervention)へ  
(RTI)

個別支援  
(1~5%)

介入(支援)が必要な児童生徒

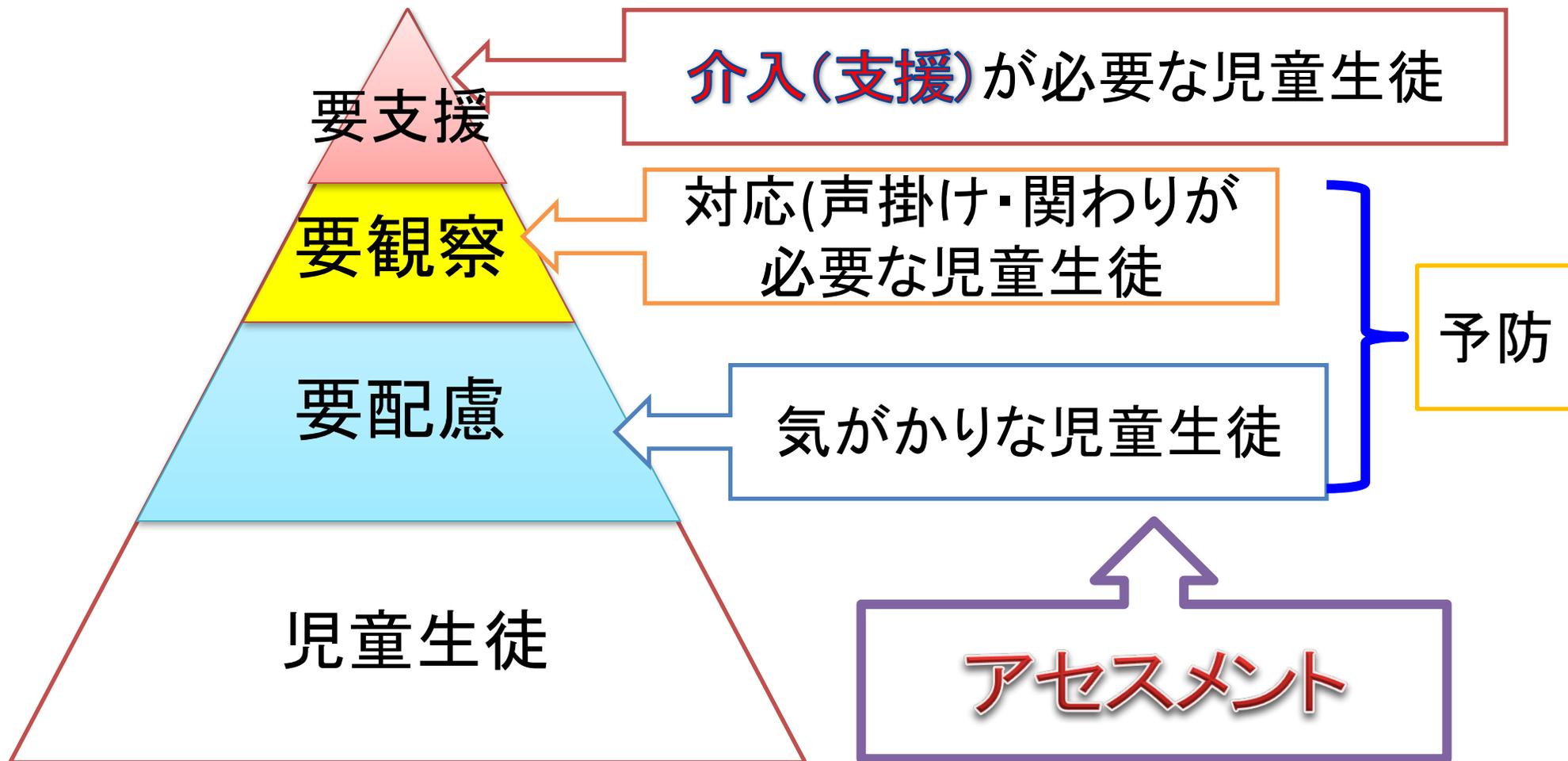
標的  
グループ  
(5~10%)

対象グループでの学  
業・社会性発達支援

児童生徒  
(80~90%)

学校方針・クラス方  
針での取り組み

# 福岡県筑豊地区チーム学校モデル事業での 学校全体アプローチでの取り組み



平成29年度より

早期対応

< 福岡県教委・筑豊地区指定中学校区 >

要支援

要観察

要配慮

児童生徒

【中学校区生徒指導委員会】  
(週1回:生徒サポート会議)  
小・中学校・SSW・SC・SS  
(チーム学校体制)

新学期4月・2学期・3学期  
SCによる全児童生徒へ  
のカウンセリング

# カナダ・トロント教育委員会 (School Support Team)

## 子どもの課題

- ・出席問題
- ・行動問題
- ・いじめ
- ・虐待
- ・貧困
- ・抑うつ
- ・自殺企図
- ・家庭問題, 他



## <学校>

子どもの学業と  
社会化育成の促進

## 月1回の生徒サポート会議

- ・校長、担任教諭
- ・スクールソーシャル  
ワーカー
- ・スクールサイコロジスト
- ・他専門職



# カナダ・トロント教育委員会 (School Support Team)

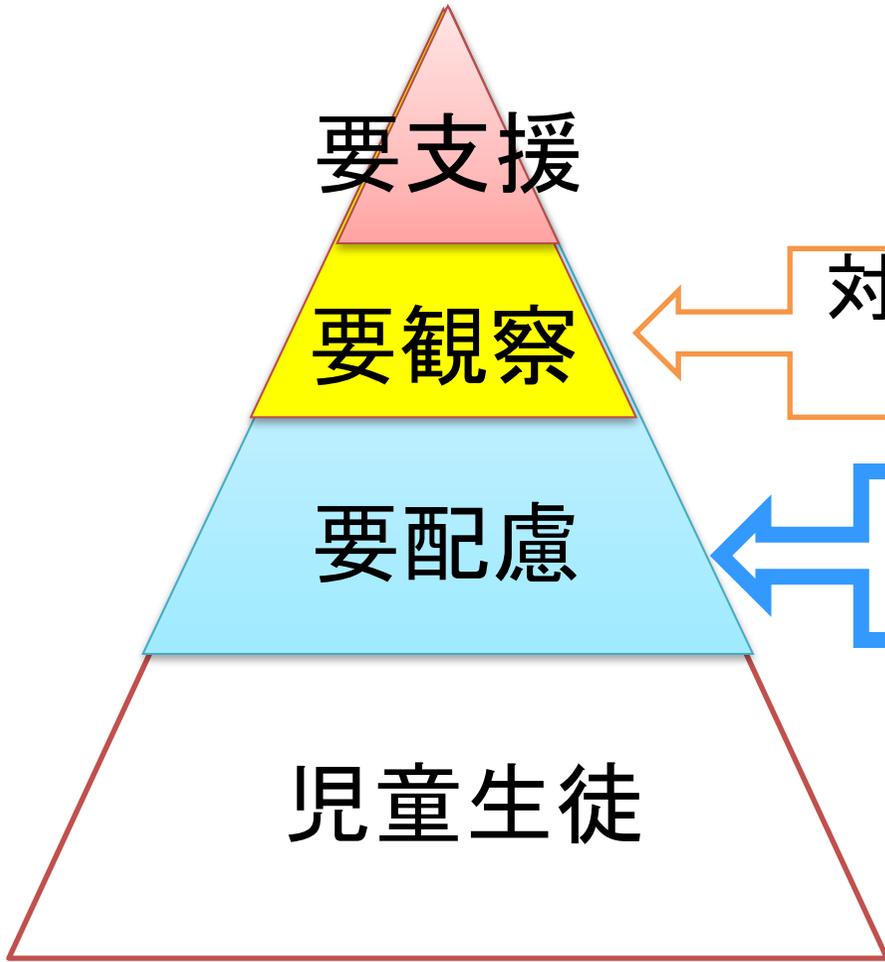
**目的**は、

“学校内の専門スタッフ間の**協働**を通して、課題を抱える生徒への初期サポートを提供する”ことにある。

SSTメンバーは、校長、教員、サイコロジスト、ソーシャルワーカー、Attendanceカウンセラー、言語療法士、理学療法士、作業療法士など。



特別支援教育を要する生徒では、SSTでは「個別教育計画(IEP)」の作成も含む。



対応(声掛け・関わりが  
必要な児童生徒

気がかりな児童生徒

予防

学校内での  
居場所づくり

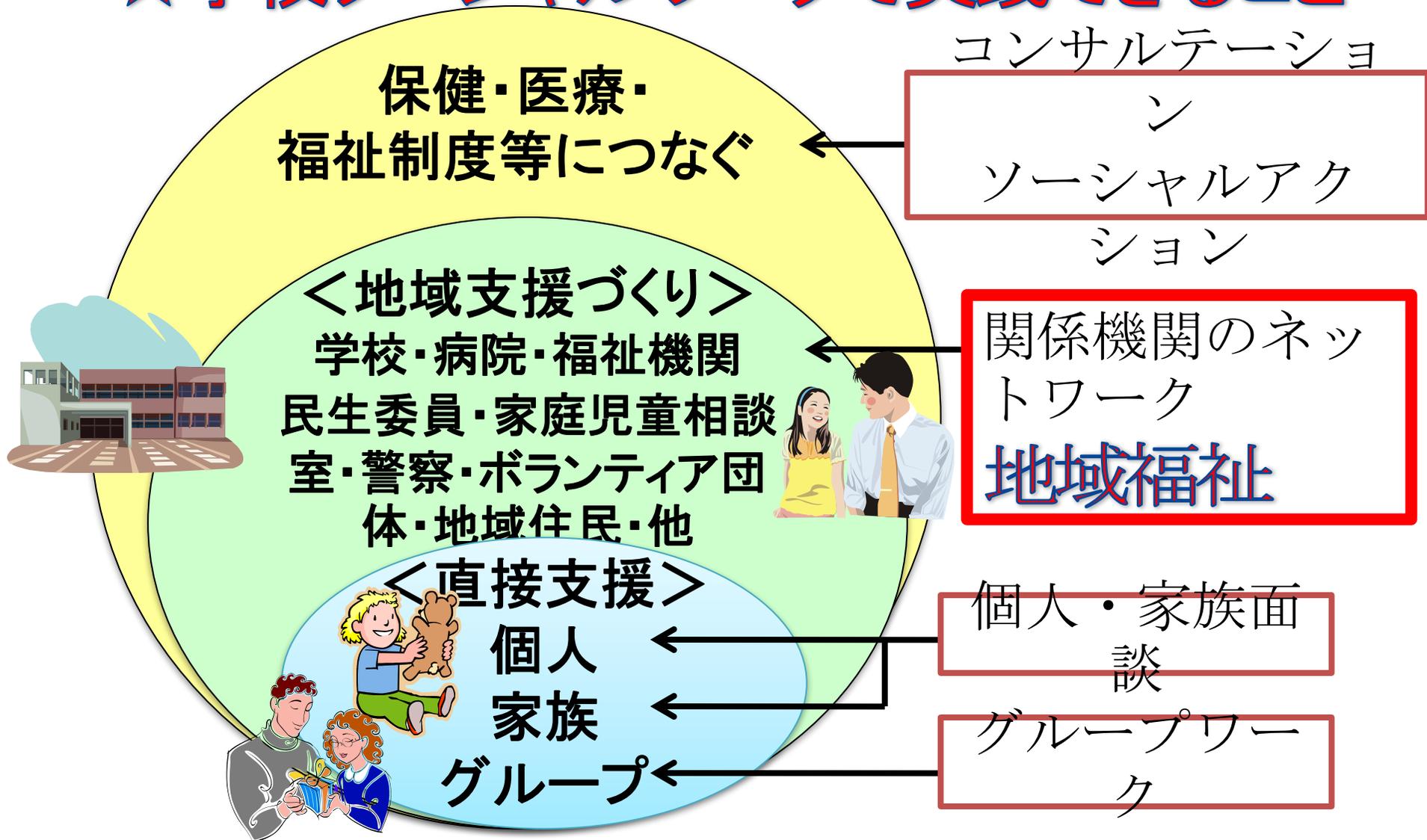
# 学校を資源に！

## 校内「居場所」作りの必要性

- 自己肯定感が低い、心が満たされていない、自分の思いを表出できない、などの子ども達が多い
- 安心して安全に過ごせる居場所や時間が必要
- 見落としがちだった子ども達の気持ちに気付くことができる

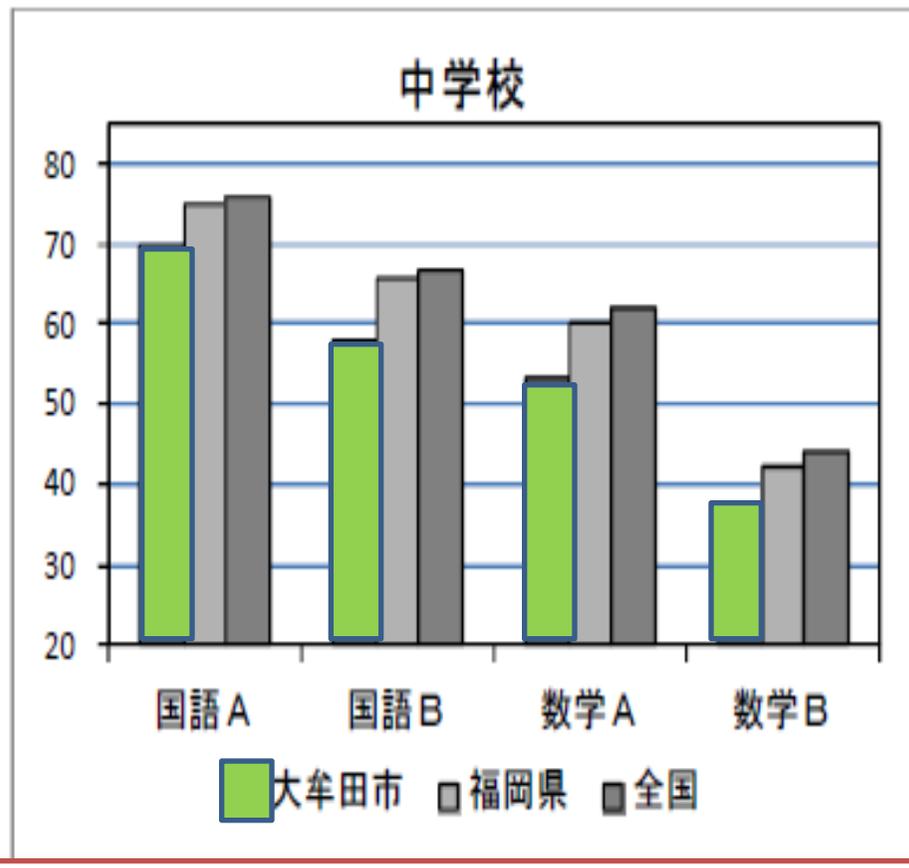
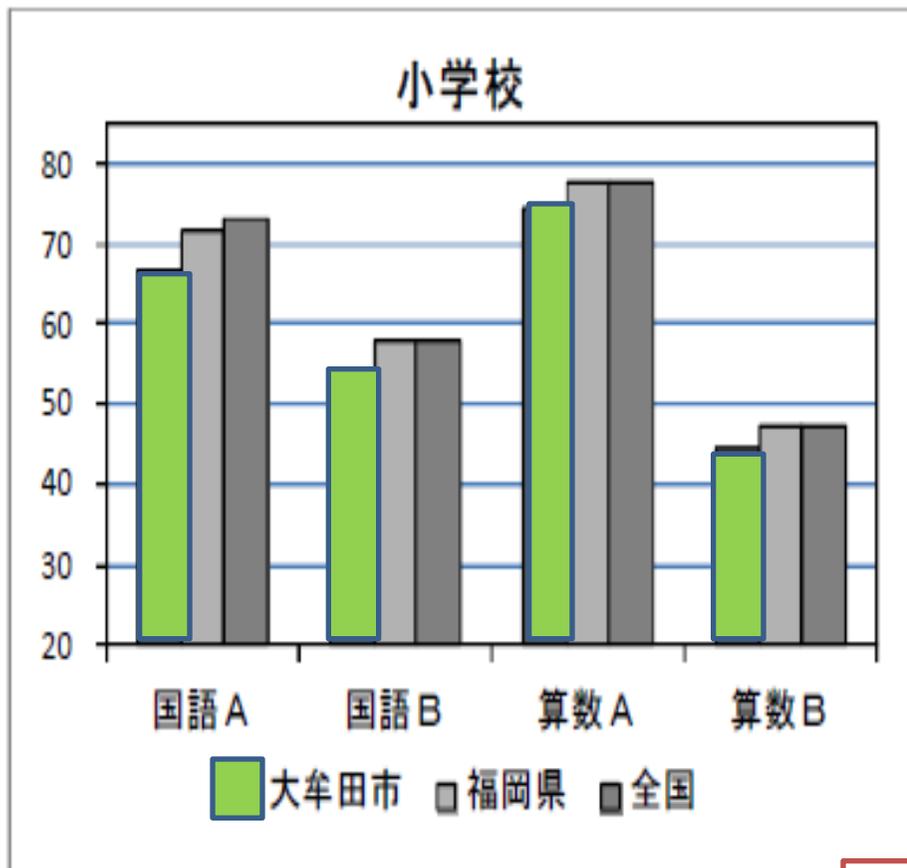
# <子どもの抱える状況を改善するために>

## ★学校ソーシャルワークで実践できること



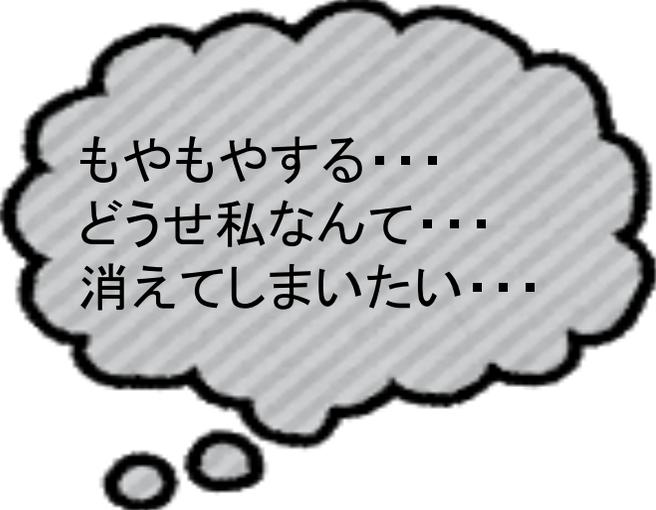
|      |      |     |     |     |
|------|------|-----|-----|-----|
|      | 保護率  | 小学校 | 中学校 | SSW |
| 大牟田市 | 35.8 | 20校 | 8校  | 2名  |

## 平成28年度全国学力試験結果



中学で全国平均より10点低下

# 子ども達の表面的な表出



もやもやする・・・  
どうせ私なんて・・・  
消えてしまいたい・・・

- 自傷行為
- 非行・暴力行為
- 不登校・ひきこもり
- 過呼吸・パニック
- 睡眠障害・摂食障害
- 性の逸脱行動

など



# 「貧困」の問題

- ・子どもの貧困・・・福岡県(4.5人に1人)
  - ・ひとり親の貧困・・・約半数
- ⇒「経験・知識」「心」「人間関係」などに深刻な影響
- 貧困とは、金銭的な課題だけを指すものではない

- ・**保護者の養育力(生活力)の課題**
- ⇒背景に精神疾患、知的障害、経験のなさなどが存在する

# 環境背景から生じる具体的な課題

食事・栄養  
面の課題

生活リズムが  
不規則にな  
る

衛生面  
の課題

他者への  
不信や孤立

コミュニケー  
ションスキル  
の低下

気持ちの  
言語化が苦  
手

健康に関する知  
識の不足

考え方や  
とらえ方の  
歪み



# SSWによる新たな実践の取組（平成29年度～）

人と繋がると  
何だか少し  
HAPPYだな♪



- 子ども達自身が「**生活力**」を高めることで、環境や状況に左右されず、自らの生活を維持する力を付ける
- グループでの相互作用や、活動での「できる」経験を通して、自尊感情を高め、ストレスや環境に適応する力を付ける
- 人と繋がりが、困ったときに発信する力を付ける



FASSW

# 福岡県スクールソーシャルワーカー協会

*Fukuoka Association of School Social Workers*

福岡県スクールソーシャルワーカー協会は、スクールソーシャルワーカーの専門性の向上と人材育成、スクールソーシャルワーカー事業の充実と発展、学校におけるソーシャルワーク（学校ソーシャルワーク）実践の普及啓発、さらには専門職団体としての法人化を目指し、支援を必要とする児童生徒の人権と教育および発達保障に寄与することを目的とします。



2012年度発足

現在の会員数：約200名

# みんなの総力をあげて

子ども・家庭・学校支援の実際

## スクールソーシャルワーカー 実践事例集

門田 光司／奥村 賢一：監修  
福岡県スクールソーシャルワーカー協会：編集

子どもたちと歩む・・・

中央法規

<出版>2014  
年4月  
発刊

# 協会と関係団体とのつながり



福岡県  
SSW  
協会

SSW活動  
の推進の  
ために

福岡県教育委員会

福岡市教育委員会

北九州市教育委員会

市町村教育委員会

福岡県警察少年課  
(スクールサポーター)

福岡県臨床心理士会

福岡県社士会・精保士  
会・民生委員・弁護士・  
NPO法人・他

福岡県教育委員会

福岡市教育委員会

北九州市教育委員会

福岡県SSW協会

- ・SSW事業発展に関する協議
- ・SSW人材推薦及び派遣支援

福岡県中学校数：342校（SSW約100校）

福岡県高等学校数：106校（SSW12

校）  
福岡県特別支援学校数：38校（SSW派遣依頼）



**地域に根ざすSSWへ**



**市町村でのSSWの常勤化の動き**